

## ■ 令和4年度 第2回学校運営協議会 議事録

1 日 時:令和4年9月14日(水)10:20~11:45

2 出席者:学校運営協議会委員 10名

3 内容

### (1) 開会の挨拶【委員長】

- ・子供たちのために、学校も力を出している。協力をしていきたい。
- ・中間の協議会である。協議内容についてはしっかり協議していきたい。

### (2) 授業参観

\*各学級3分ほど参観

### (3) 協議

\*現状について【学校長】

- ・コロナ感染症の影響はある。学級閉鎖が2学級あった。  
(1年1組8月30日~9月1日・2年2組9月13日~15日)
- ・教育実習生の受け入れ…聖徳学園大学から2名 東海学園大学から本校出身の学生1名
- ・職員の異動…8月18日より講師が入っている。教科中心にサポート。
- ・行事…9/21・22 5年生 宿泊研修 10/4・5 6年生 修学旅行  
10/1 PTA 環境整備活動 11/5 運動会  
10/14 稲刈り(4か月前に植えた苗の育った様子を見て収穫)  
11/22 ハッピーハーモニー…マスク着用 デイスタンスとって 保護者に聴いてもらう
- ・いじめ対策通信:校長が原稿依頼を受けて執筆  
岐阜市の生徒の自死から、二度とないようにする取組の一つ  
岐阜市から始まったが、羽島市も賛同して、校長や教育委員会の者が思いを書いて伝えている。
- ・くすのき学級  
担任一人の力では難しく主任児童委員が6/2より毎日のように来てくださっている。  
主任児童委員と一緒に畑の世話をしてくださっている。  
学校と家庭をつなぐSSWも何度も来校  
4人の在籍児童に対し、担任・主任児童委員・SSW・子ども応援サポーターなどが支援
- ・委員に4年生の防災学習でお世話になっている。  
委員のつながりで、国交省・羽島市防災課の方々も来てくださり、実のある学習ができています。

\*絆会議の報告

・委員より

子供と大人が一緒になって意見を出し合う会で、自分の主張を出していく良い会になった。  
続けていきたい会だと感じた。

・委員より

小中一貫のまとまりとなって進んでいこうという会。  
子供の意見を聞いて、大事にしていきたい。地域の活性化につなげたい。

\*150周年に向けて 航空写真の紹介

#### (4) 意見交流

##### 【委員】

教員の数が足りないと聞いているが、足近小学校は大丈夫か？→ギリギリの状況である。

大人数と少人数の学級があり、極端。→5年生まで35人学級、6年生は40人学級。

体育館の気温が心配。扇風機などを使って工夫をしていくとよい。

##### 【委員】

保育園は現在最高の感染率。未満児はマスクなし。閉鎖になると消毒ばかりしている。家族に陽性者がでたら、子供も陽性と考えている。7・8月の行事はすべて延期した。子供がかわいそう。

##### 【委員】

老人会もコロナ感染を考えて集められない状況。収まらないと行事はできない。3年間苦しんだが、何か一つでも、楽しみをつくってあげたい。

##### 【委員】

役員の交代があり、10人中6人が新しく入られた。何もやってみえないまま3年間終わってしまう。ベテランの方の任期も1年となり、地域に貢献できなかった。

羽島モア学園絆会議で堂々と発表できてよかった。これからは世界を相手にしていくので、相手に分かってもらうことが大事。手を挙げて言うことが大事。それができるようになってきた。

##### 【委員】

コロナ禍の3年間で行事ができず、過去の先輩の姿を知らなくなってきた。自然に伝わっていたことが伝わりきれっていない。6年生に自覚を高めてもっと頑張ってもらいたい。

##### 【委員】

体育館の授業参観、一番後ろ声がわれて聞き辛い。聞き辛いと先生の話をかきかずに他ごとをしているので、マイクを使うとよかった。

#### (5) 閉会の挨拶【委員長】

それぞれの立場で意見を出し合い、有意義な交流ができた。